

令和6年能登半島地震における被害と対応について（第112報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

※ これは令和6年能登半島地震に伴う被害等のみを記載しています。

1 地震の概要

（1）発生日時 令和6年1月1日16:06～

（2）震源地及び地震の規模等（震度5強以上）

地震検知日時	震央地名	マグニチュード	最大震度
2024/1/1 16:06	石川県能登地方	5.5	震度5強
2024/1/1 16:10	石川県能登地方	7.6	震度7
2024/1/1 16:12	能登半島沖	5.7	震度6弱
2024/1/1 16:18	石川県能登地方	6.1	震度5強
2024/1/1 16:56	石川県能登地方	5.8	震度5強
2024/1/1 18:08	能登半島沖	5.8	震度5強
2024/1/2 17:13	能登半島沖	4.6	震度5強
2024/1/3 02:21	石川県能登地方	4.9	震度5強
2024/1/3 10:54	石川県能登地方	5.6	震度5強
2024/1/6 05:26	石川県能登地方	5.4	震度5強
2024/1/6 23:20	能登半島沖	4.3	震度6弱
2024/6/3 06:31	石川県能登地方	6.0	震度5強

（3）津波警報等

- ・ 令和6年1月1日16時10分に発生した石川県能登地方を震源とする地震の津波注意報は、1月2日10時00分に全て解除。

（4）令和6年1月1日16:10の地震について

①発生日時

- ・ 令和6年1月1日16:10

②震源及び規模（暫定値）

- ・ 場所：石川県能登地方（北緯37.5度、東経137.3度）
- ・ 規模：マグニチュード7.6（暫定値）
- ・ 震源の深さ：16km（暫定値）

③各地の震度（震度5強以上）

石川県	震度7	志賀町、輪島市
	震度6強	七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
	震度6弱	中能登町
	震度5強	金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
新潟県	震度6弱	長岡市
	震度5強	新潟中央区、新潟南区、新潟西区、新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、佐渡市、南魚沼市、阿賀町、刈羽村

富山県 震度 5 強 富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村
福井県 震度 5 強 あわら市

(5) 地震活動の状況

令和 6 年 1 月 1 日 16:06 の最大震度 5 強の地震以降、令和 7 年 1 月 28 日 11 時 00 分現在、震度 1 以上を観測した地震が 2134 回（震度 7 : 1 回、震度 6 強 : 0 回、震度 6 弱 : 2 回、震度 5 強 : 9 回、震度 5 弱 : 8 回、震度 4 : 50 回、震度 3 : 191 回、震度 2 : 538 回、震度 1 : 1335 回）

2 体制等

- 非常体制：本省、気象庁、北陸地整、国土地理院、国総研
- 注意体制：北信運輸

3 一般被害情報（消防庁 HP 12/24 14:00 時点）

- 人的被害
 - ・死者 489 人（新潟 4、富山 2、石川 483）、重傷 403 人（新潟 11、富山 14、石川 378）
- 住家被害
 - ・全壊 6,445 棟（新潟 109、富山 259、石川 6,077）
 - 半壊 23,225 棟（新潟 4,080、富山 805、石川 18,328、福井 12）

4 国土交通省関連情報

■道路

- 補助国道 40 区間通行止めのうち 36 区間（約 9 割）復旧
現在 1 路線 4 区間で通行止め
国道 249 号（石川県珠洲市仁江町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市大谷町）トンネル損傷
国道 249 号（石川県輪島市門前町西円山）法面崩壊
国道 249 号（石川県輪島市町野町大川）法面崩壊
- 都道府県道等 3 県 145 区間通行止めのうち 137 区間（約 9 割）復旧
現在 8 区間で通行止め
石川県 7 区間
富山県 1 区間

■鉄道

- JR 西日本：七尾線 七尾駅～和倉温泉駅間は、2/15 から運転再開（全線）
- のと鉄道：七尾線 能登中島駅～穴水駅間は、4/6 から運転再開（全線）
 - ・1/9～10 現地調査実施（合計 12 名）：TEC-FORCE 5 名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊（RAIL-FORCE）7 名
 - ・1/18～2/16 TEC-FORCE 3 名をのと鉄道に派遣・常駐。復旧作業支援のため

- の連絡調整等
- ・ 1/19 鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議
(省内関係局、鉄道事業者) を開催
- ・ 1/25 鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議
(北陸地整局、北信運輸局、石川県、鉄道事業者等) を開催
- ・ 2/ 1～4/5 線路敷きへの進入路の盛土材に、道路復旧用碎石を活用し、土
砂・倒木撤去作業を実施

【運転見合わせ】

○運転を見合わせている路線：なし

■航空

【能登空港 震度 6 強】

○滑走路閉鎖 (1/1～1/24：航空情報 (ノータム) 発出)

- ・ 1/2～ 救難ヘリ等の離発着を受入れ開始
滑走路の被害状況調査・復旧支援のための航空局職員 (TEC-
FORCE) を派遣
- ・ 1/9～ 空港の運用を支援するための航空局職員 (TEC-FORCE) を派遣
- ・ 1/10～空港運用時間を拡大
※8:00～19:30 (11.5 時間)
→1/23～2/4 6:00～19:30 (13.5 時間)
- ・ 1/10 滑走路の応急復旧完了
- ・ 1/12～自衛隊固定翼機が離発着を開始
- ・ 1/22 滑走路等の応急復旧完了
- ・ 1/27～民航機運航再開

○救援ヘリ等の離発着

→1/2～自衛隊 (固定翼機含む)、警察/海保庁 (警視庁、北海道、広島
県、富山県、長野県、兵庫県、石川県)、消防防災/官公庁 (山
梨県、埼玉県、石川県、千葉市)、米軍、民間

○自衛隊災害派遣 (車両)

- ・ 1/3 毛布
- ・ 1/4～ 毛布、食料、軽油ドラムなど

○ターミナルビル復旧作業開始 (1/6～) →1/22 応急復旧完了

- ・ 上水道、商用電源、ガス復旧
- ・ トイレ、固定電話、携帯電話、Wi-Fi、空調使用可能
- ・ 1/30 地域住民避難者数解消

○空港アクセス道路復旧開通

- ・ 航空旅客は航空会社がバスを手配し、希望者を金沢市へ搬送 (1/3)
- ・ タクシー、バス一部運行、レンタカー運行中

○2/1 大規模災害復興法に基づく石川県からの要請を受け、国が本格的な復旧工事を代行することを決定

【運航への影響】

- ・ 1/1 欠航便 28 便（JAL9 便、ANA16 便、その他 3 便）
- ・ 1/2 欠航便 10 便（JAL1 便、ANA8 便、その他 1 便）
- ・ 1/3～ 各日欠航便 4 便（ANA 定期便）※能登空港
- ・ 1/27～ ANA：臨時便 1 往復、週 3 便運航（火・木・土）※能登空港
- ・ 4/15～ ANA：1 往復/日 毎日運航※能登空港
- ・ 12/25～ANA：2 往復/日 毎日運航※能登空港

■砂防

○土砂災害警戒情報発表基準の暫定的な運用

- ・ 震度 5 強以上を観測した市町村において土砂災害警戒情報発表基準を引き下げた暫定基準による運用を開始（1 月 1 日 22:30）
通常基準の 7 割（震度 6 弱以上）：2 県 8 市町（石川県、新潟県）
通常基準の 8 割（震度 5 強）：4 県 26 市町村（石川県、新潟県、富山県、福井県）

○土砂災害

- ・ 456 件 新潟県 18、富山県 14、石川県 424
人的被害 死者 37 名（石川県（穴水町 16）、（珠洲市 13）、（輪島市 8））
行方不明者 2 名（石川県（輪島市 2））
負傷者 3 名（石川県（珠洲市 2）、（輪島市 1））
人家被害 全壊 101 戸（石川県 101）
半壊 50 戸（石川県 50）
一部損壊 55 戸（石川県 55）

※いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ

○砂防関係施設点検対象

直轄 3 管内（新潟県 1 町、富山県 2 市町、岐阜県 2 市）
点検完了。異常なし。

補助 新潟県（28 市町村）、富山県（12 市町）、福井県（3 市）、
長野県（1 村）、岐阜県（4 市村）点検完了。異常なし。
石川県（15 市町）

TEC-FORCE 等による土砂災害発生箇所および砂防関係施設等の調査を完了。

■河川

○国管理河川

- ・ 5 県（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県）に所在する 12 水系 17

河川で点検を完了。4 水系 4 河川 16 箇所では堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。

○県管理河川

- ・ 6 県（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県）が管理する 122 水系 554 河川で点検完了。4 県（新潟県、富山県、石川県、福井県）が管理する 66 水系 113 河川で護岸損傷、天端クラック等を確認、必要な応急対策は実施済。
- ・ 石川県管理の河原田川水系河原田川、山田川水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川については土砂災害対策と一体となった本格的な復旧工事を権限代行等により国が実施中であり、出水期までに上下流見合いの迂回水路の拡幅や倒木除去・土砂撤去を実施し、上下流と同等程度の通水断面を確保。山田川については応急対策としての流路確保済。
- ・ 被災した鉄道施設の速やかな復旧に向けて、河道内工事の許認可手続の迅速化について石川県に協力を依頼。

■ダム

○点検対象ダム 96 ダムの全てで点検終了。うち 94 ダムは異常なし。2 ダム（石川県管理）で損傷を確認。専門家（国総研）による遠隔指導及び現地での技術支援を実施。応急対策を実施済であり、11 月より本復旧に着手済。

○国管理：2 ダム

〔新潟県〕^{さぐりがわ}三国川ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

〔福井県〕^{なるか}鳴鹿大堰 一次点検、二次点検終了 異常なし

○県管理：35 ダム

〔新潟県〕11 ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

〔富山県〕13 ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

〔石川県〕10 ダム 一次点検、二次点検終了 8 ダム 異常なし

2 ダム（北河内ダム、小屋ダム）で損傷確認（北河内ダム；貯水池周辺斜面に小規模崩落、ダム堤内のポンプ故障。小屋ダム；ダム天端の舗装に一部クラック、ダム堤体表面被覆の一部変状等）。

専門家（国総研）による遠隔指導及び現地での技術支援を実施。応急対策（北河内ダム；仮設ポンプ稼働中。小屋ダム；念のため水位低下、クラック部の仮舗装養生等）は実施済。11 月より本復旧に着手済。

〔福井県〕1 ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

○利 水 : 59 ダム

[新潟県]	16 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[富山県]	32 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[石川県]	4 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[長野県]	1 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[岐阜県]	6 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし

■海岸

<直轄海岸>

- ・点検対象海岸 4 海岸の全てで点検完了。うち石川県の 1 海岸（石川海岸）にて海岸堤防等の管理用通路に段差・クラックを確認。石川県による本復旧工事が完了（10/31）。

<補助海岸>

- ・点検対象海岸 124 海岸の全てで点検完了。うち石川県の 12 海岸で護岸損壊等を確認し、一部の海岸では本復旧工事を実施中。
- ・特に甚大な被害があった宝立正院海岸では、復旧工事を権限代行により国が実施しており、上戸地区、正院地区において本復旧工事を実施中。

■上水道

【水道の被害状況】

- ・5月31日時点において、建物倒壊地域等を除いて、断水解消。

県・市町村 ・事業者名	断水戸数（戸）		断水 期間	被害等の状況
	最大	現在		
断水解消済み				
【新潟県】				
にいがたし 新潟市	2,325	0	1/1～1/7	・配水管破損（復旧済）
さどし 佐渡市	676	0	1/1～1/5	・配水管破損（復旧済）
ながおかし 長岡市	61	0	1/1	・配水管破損（復旧済）
さんじょうし 三条市	93	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
かしわざきし 柏崎市	20	0	1/1	・配水管破損（復旧済）

いといがわし 糸魚川市	46	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
みょうこうし 妙高市	29	0	1/1	・配水管破損（復旧済）
ごせんし 五泉市	18	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
じょうえつし 上越市	90	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
とおかまちし 十日町市	36	0	1/2	・配水管破損（復旧済）
【富山県】				
とやまし 富山市	85	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
たかおかし 高岡市	4,090	0	1/1～1/5	・配水管破損（復旧済）
ひみし 氷見市	14,000	0	1/1～1/18	・配水管破損（復旧済）
おやべし 小矢部市	525	0	1/1～1/9	・配水管破損（復旧済）
なんとし 南砺市	27	0	1/1～1/3	・配水管破損（復旧済）
いみずし 射水市	210	0	1/1～1/3	・配水管破損（復旧済）
【石川県】				
かなざわし 金沢市	約1,000	0	1/1～1/11	・配水管破損（復旧済）
ななおし 七尾市	約21,200	0	1/1～4/1	・配水管破損、配水池破損 （復旧済）
わじまし※ 輪島市	約11,400	0	1/1～5/31	・配水管破損（復旧済） 建物倒壊地域等を除く
すずし※ 珠洲市	約4,800	0	1/1～5/31	・配水管破損（復旧済） 建物倒壊地域等を除く
かがし 加賀市	約160	0	1/1～1/2	・配水管破損（復旧済）
はくいし 羽咋市	約8,500	0	1/1～2/2	・配水管破損（復旧済）

かほく市	約9,800	0	1/1~1/15	・配水管破損（復旧済）
はくさんし 白山市	約30	0	1/1~1/2	・配水管破損（復旧済）
のみし 能美市	約30	0	1/1~1/12	・配水管破損（復旧済）
つばたまち 津幡町	約15,000	0	1/1~1/8	・配水管破損（復旧済）
うちなだまち 内灘町	約12,000	0	1/1~4/18	・配水管破損（復旧済）
しかまち 志賀町	約8,800	0	1/1~3/4	・配水管破損（復旧済）
ほうだつしみずちょう 宝達志水町	約3,300	0	1/1~1/9	・配水管破損（復旧済）
なかのとまち 中能登町	約7,000	0	1/1~1/13	・配水管破損（復旧済）
あなみずまち 穴水町	約3,200	0	1/1~3/4	・管路破損（復旧済）
のとちょう 能登町	約6,200	0	1/1~5/2	・配水管破損（復旧済）
【福井県】				
あわら市	99	0	1/1~1/2	・配水管破損（復旧済）
【長野県】				
こもろし 小諸市	6	0	1/1~1/2	・配水管破損（復旧済）
いいやまし 飯山市	7	0	1/1~1/2	・配水管破損（復旧済）
さかえむら 栄村	47	0	1/2	・濁水（復旧済）
ながのけん 長野県	30	0	1/2	・配水管破損（復旧済）
【岐阜県】				
たかやまし 高山市	1,500	0	1/1	・減圧弁異常（復旧済）
合計	約136,440	0		

【その他】

- ・被害状況の調査や復旧計画の立案を行う水道事業体の技術職員を順次現地に派遣。

■下水道

○石川県

- ・処理場：全 57 箇所（被害無：32、機能確保済：25）
- ・ポンプ場：全 52 箇所（被害無：38、機能確保済：14）
- ・管路施設：点検対象 18 市町村（被害無：1 市町村、機能確保済：17 市町村）

○新潟県

- ・処理場：全 83 箇所（被害無：79 箇所、機能確保済：4）
- ・ポンプ場 被害なし
- ・管路施設：点検対象 28 市町村（被害無：23 市町村、機能確保済：5 市町村）

○富山県

- ・処理場：全 29 箇所（被害無：25 箇所、機能確保済：4）
- ・ポンプ場：被害なし
- ・管路施設：点検対象 13 市町村（被害無：6 市町村、機能確保済：7 市町村）

○福井県

- ・処理場・ポンプ場の被害なし
- ・管路施設：点検対象 3 市町村（被害無：2 市町村、機能確保済：1 市町村）

○長野県

- ・処理場・ポンプ場・管路の被害なし

○岐阜県

- ・処理場・ポンプ場・管路の被害なし

■公園・都市

○都市公園：113 施設被災（新潟県 30、富山県 17、石川県 65、福井県 1）

○都市排水施設等：41 施設被災（新潟県 5、富山県 5、石川県 31）

■住宅・建築物

①公営住宅の被害状況

13 団地で一部損壊、半壊（新潟県 1 団地、富山県 2 団地、石川県 10 団地）

その他建物周辺の地盤沈下等の被害報告あり（新潟県、富山県、石川県）

②エレベーター閉じ込め情報

閉じ込めが 14 件（石川県 7 件、新潟県 1 件、富山県 1 件、群馬県 1 件、愛知県 2 件、大阪府 2 件）発生。全件で救出済み。

（※日本エレベーター協会会員社が保守を行っているもの）

③被災建築物応急危険度判定

新潟県（1/2～11）、富山県（1/3～16）、石川県（1/4～21）、福井県（1/3）にて実施

④住まいの確保

○公営住宅等の空室提供

- ・都道府県・政令市に協力要請（1/4）
- ・即入居可能な住宅を全都道府県において約 9,500 戸確保、約 990 戸入居決定
- ・高齢者からの生活相談に対応できる UR 賃貸住宅を全国で 300 戸確保（1/16）

○賃貸型応急住宅

- ・賃貸・不動産関係団体に協力要請（1/1、1/2）
- ・石川県、富山県、新潟県にて受付開始、21 市 11 町 1 村で受付中

○建設型応急住宅

- ・住宅生産関係団体に協力要請（1/1）
- ・主要都府県・政令市に応援職員の派遣要請（1/4）
- ・独立行政法人都市再生機構（UR）に対し技術的支援に係る応援職員の派遣要請（1/10）
- ・主要自治体・UR より応援職員の派遣開始（1/15～）
- ・輪島市、珠洲市で着工（1/12）、穴水町、能登町で着工（1/15）、七尾市で着工（1/20）、志賀町で着工（1/26）、内灘町で着工（1/31）、羽咋市で着工（2/28）、中能登町で着工（3/27）、宝達志水町で着工（8/27）

	七尾市	輪島市	珠洲市	羽咋市	内灘町	志賀町	宝達志水町	中能登町	穴水町	能登町	合計
着工戸数	575 戸	2,897 戸	1,718 戸	67 戸	95 戸	393 戸	4 戸	30 戸	532 戸	571 戸	6,882 戸
完成戸数	575 戸	2,897 戸	1,718 戸	67 戸	95 戸	393 戸	4 戸	30 戸	532 戸	571 戸	6,882 戸

○住宅の補修への対応

- ・登録リフォーム事業者団体に協力要請（1/1）
- ・「住まい再建事業者検索サイト」で被災した住宅の補修工事等が可能な事業者を情報提供
- ・被災住宅の補修等に関する電話相談を受け付けるフリーダイヤルを開設（1/24～）

○災害公営住宅

- ・災害公営住宅の建設等に係る国庫補助率の引き上げの対象 11 市町を告示

■物流・自動車

（物流施設の状況）

- ・倉庫事業者（石川県内）
建物の被害 6 事業者 14 棟（4 棟復旧済）

貨物の被害 9 事業者 15 棟（7 棟復旧済）

・ 倉庫事業者（新潟県内）

建物の被害 8 事業者 9 棟（4 棟復旧済、1 棟は R7 年度に復旧予定、1 棟は修繕する方向で準備中）

貨物の被害 9 事業者 14 棟（10 棟復旧済、1 棟は応急復旧済み）

・ 倉庫事業者（富山県内）

建物の被害 2 事業者 3 棟（復旧済）

貨物の被害 1 事業者 2 棟（復旧済）

（バス等の運休状況）

・ 乗合バス：全てのバス路線が臨時ダイヤ等にて運行を再開

・ 宅配事業者：大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等

・ トラック事業者（石川県内）：営業所施設が一部損壊（2 事業者 5 営業所）
（全営業所再開済）

・ タクシー事業者：被災地域の 4 事業者が営業休止中

（自動車検査登録関係）

・ 被災地で登録されている自動車、被災地に取り残された石川県外ナンバーの自動車、災害復旧等のために全国から派遣されている緊急自動車等の自動車検査証の有効期間を 7 月末まで延長。

・ 石川県、新潟県、富山県及び福井県内を対象に自動車登録申請等に必要な書面の有効期間を 6 月 30 日まで延長する等の特例を実施

・ 災害救助法又は被災者生活再建支援法適用区域に対し、車の所在不明や、罹災証明書が入手困難な車両に対して、申立書にて抹消対応を可能とする特例の実施。

・ 自動車検査登録ヘルプデスク内に、被災自動車の電話相談窓口開設

・ 地震等の被害で、印鑑登録証明書の発行が困難な場合は、実印を紛失している所有者等のため、身分証明書や申立書で申請処理を受理する対応を可能とした。

・ 石川県行政評価局主催の行政相談会の開催。行政機関が現地自治体の要望を受け、各地開催及び開催予定。登録車及び軽自動車の抹消登録申請受付も実施。

2 月 3 日（土）、2 月 7 日（水）七尾市勤労者総合福祉センター実施済み。

2 月 28 日（水）石川県小松市井口町の粟津温泉「おびし荘」実施済み。

3 月 3 日（日）能登町役場 実施済み。

3 月 18 日（月）穴水町（JA のと）実施済み。

4 月 20 日（土）輪島市（JA のと輪島支店）実施済み。

5 月 12 日（日）珠洲市（珠洲商工会議所）実施済み。

5 月 19 日（日）能登町（能登町役場里山ホール）実施済み。

6月16日(日)志賀町(志賀町文化ホール)実施済み。

(その他)

- ・全国霊柩自動車協会が、石川県知事からの協力要請に応じて、広域でのご遺体の搬送に対応できるよう「災害対策中央本部」を立ち上げ(1/8)。1/9には先遣派遣(中部霊柩自動車協会会長等)を実施し、1/10から1/11は初動要請車両5両(中部及び近畿)が活動。1/12から1/18は15両(中部、北信、近畿、中国、関東の各地方)が活動。1/19は5両(中部、北信、関東、中国の各地方)が活動。
- ・被災した自動車整備工場について、満たすべき設備等の基準を緩和する措置を実施
- ・一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会、一般社団法人日本自動車リース協会連合会、一般社団法人日本自動車工業会から、一般社団法人日本カーシェアリング協会に対して、乗用車・軽トラック等約90台の車両を準備できたものから提供中。
提供された車両は、日本カーシェアリング協会が、石川県内の6か所の拠点(七尾市、能登町、輪島市2カ所、能美市、珠洲市)において被災者へ無償貸出を実施(本件について3/1にNHKで報道あり)。
物流・自動車局では、同協会と車両を提供する団体との連携が円滑に進むようマッチングに協力。

■海事

- 陸揚げ中の能登の遊覧船3隻(1事業者、冬期休業中)のうち、2隻が津波により倒れ防波堤に引っかかっていたが、7月中に修理済。
- 海底隆起と思われる状況により座礁していた係留中の輪島の旅客船1隻は、七尾の造船所まで自走で移動し修理済。造船所近くで係留中。
- 石川県(4事業者)及び富山県(1事業者)の造船所において、一部設備が損壊との報告
- モーターボート競走施設について、三国競走場(福井県)が一部損壊し1月3~7日に開催予定のレースは取りやめたが、1月18日より通常通り開催。
- 船員法、船員職業安定法、船舶職員及び小型船舶操縦者法、船舶安全法、海上運送法の手続きについて、有効期間の延長等の弾力的な措置を実施する旨を周知
- 生活・生業の再建に伴う物資・資機材等の輸送需要に対して、海上輸送の活用も検討いただけるよう、港湾局と連携し「令和6年能登半島地震に係る海上輸送窓口」を設置

■港湾

○1月2日より輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港、七尾港（いずれも石川県）において、港湾法第55条の3の3に基づき管理の一部の実施を開始。岸壁の利用可否情報及び入港実績を国交省 HP にて公表（※）。2月2日より管理の対象施設を拡大（外郭施設及び臨港交通施設の応急措置。荷さばき地、野積場及び緑地の利用に関する調整を追加）。3月2日より管理の内容を一部変更（係留施設、水域施設、外郭施設及び臨港交通施設の応急措置のみに変更。それに伴い、上記※の HP での公表は終了）。5月2日より管理の対象港を輪島港、飯田港の2港に変更。7月2日より輪島港1港に変更。8月1日に終了。

○能登地域の港湾において、利用可能な水深4.5m以上の岸壁は以下の4港10岸壁。

- ・七尾港：8岸壁中3岸壁が利用可能

- 11.0m 岸壁 ※岸壁法線から約20mの範囲は、液状化した形跡があるため、一部の区域は車両通行不可

- 7.5m 岸壁、-9.0m 岸壁 ※慎重に接岸、栈橋部に重量物の蔵置不可等

- ・輪島港：1岸壁が利用可能

- 7.5m 岸壁 ※地盤の隆起により水深が1～1.5m程度浅くなっている状況

- ・飯田港：2岸壁中1岸壁が利用可能

- 4.5m 岸壁 ※岸壁前面水深が最大1m程度浅くなっている状況

- ・小木港：5岸壁中5岸壁が利用可能

- 5.0m 岸壁 ※岸壁延長160mのうち100mが利用可能な状況

- 4.5m 岸壁×4 ※一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている状況

これまでに、以下の3港で延べ330隻が利用。（1/26時点）

- ・七尾港（1月3日より順次供用再開）：延べ166隻

- ・輪島港（1月4日より供用再開）：延べ14隻

- ・飯田港（1月4日より供用再開）：延べ150隻

（その他小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、64施設が利用可能であることを確認。）

○石川県・富山県・新潟県・福井県の計22港で防波堤や岸壁等の被害を確認しているが、能登地域以外の港湾は、概ね利用可能な状態。

○石川県・富山県・新潟県の計9海岸で護岸等の被害を確認。

○地震の影響により、能登半島北部にある「輪島港」（港湾局所管）と「珠洲市長橋」（気象庁所管）の津波観測ができない状態となっていたため、輪島港内に気象庁が臨時の津波観測装置を設置。1月8日より観測再開。同月14日に、より安定的な観測を可能とする装置を更新設置。珠洲市飯田港内においては、2月8日に気象庁が臨時の津波観測装置を設置。

- 自衛隊が PFI 方式により契約している民間船舶「はくおう」が、七尾港の応急復旧した岸壁へ 1 月 13 日に着岸。同じく七尾港に着岸している「ナッチャン World」とともに、同月 14 日より被災者の休養施設や国・自治体職員の災害対策拠点として、それぞれ活用を開始（3 月下旬活動終了）。
- 2 月 1 日、管理の一部を実施している 6 港に加え、和倉港、伏木富山港において、大規模災害復興法に基づき、被災した施設の一部の本格復旧を国が代行して実施することを決定（飯田港と和倉港については、海岸施設を含む）。
- 2 月 16 日、輪島港において、被災した漁船の移動・陸揚げのために必要な水深を確保するための浚渫作業を開始。3 地区に分けて段階的に作業を進め、6 月 25 日、3 地区目の作業が完了。6 月に輪島市から追加依頼のあった地区の浚渫作業も 7 月 23 日に完了。7 月 12 日、短期復旧方針を策定。8 月 5 日、石川県による本格的な復旧工事に着手。
- 小木港において、エプロン背後に段差が生じていることにより、利用できない状態となっていた水深 5.0m 岸壁の応急復旧工事が完了。3 月 5 日より供用開始。
- 宇出津港において、エプロン背後に段差が生じていることにより、利用できない状態となっていた水深 4.0m 物揚場の応急復旧工事が完了。3 月 5 日より供用開始。
- 飯田港において、被災した防波堤の消波ブロック及び転覆等した船舶の引揚げ、移動作業が完了。5 月 28 日より水深 4.0m 物揚場の供用開始。
- 金沢港において、セメント配管の応急復旧工事が完了。6 月 5 日よりセメント運搬船の利用再開。
- 地震の影響により天端高が下がった物揚場等において、高潮による浸水被害が発生（5 月 28 日宇出津港、6 月 24 日七尾港、穴水港、宇出津港）。応急措置（土のうの設置等）を実施。
- 7 月より、宇出津港及び飯田港から災害廃棄物の海上輸送を開始。10 月、穴水港、12 月、七尾港追加。輸送先は、姫川港と新潟港。
- 和倉港において、1 月より国・県・市で護岸の応急復旧を実施し、6 月完了。9 月 26 日、護岸復旧方針を策定。12 月 20 日に護岸の本格復旧に全面着工。
- 能登半島地域の港湾において、順次、本格的な復旧工事に着手。
12 月 2 日：七尾港、12 月 20 日：和倉港、12 月 25 日：宇出津港

■観光

- 石川県内、新潟県内及び富山県内の観光施設 100 軒でガラス破損等の被害。
- 石川県内の宿泊施設 88 軒で全壊、半壊、一部損傷（外壁・内壁損傷、配管損傷等）の被害。

(金沢市 9 軒、七尾市 23 軒、小松市 4 軒、輪島市 17 軒、珠洲市 9 軒、加賀市 14 軒、白山市 4 軒、津幡町 2 軒、志賀町 3 軒、穴水町 2 軒、能登町 1 軒)

○新潟県内の宿泊施設 54 軒で配管の損傷等の被害。

(新潟市 8 軒、長岡市 3 軒、三条市 2 軒、柏崎市 3 軒、新発田市 2 軒、村上市 1 軒、糸魚川市 2 軒、妙高市 8 軒、五泉市 2 軒、上越市 10 軒、佐渡市 6 軒、南魚沼市 1 軒、弥彦村 3 軒、田上町 1 軒、湯沢町 2 軒)

○富山県内の宿泊施設 63 軒でエレベーター停止等の被害。

(富山市 18 軒、高岡市 5 軒、魚津市 5 軒、氷見市 16 軒、滑川市 2 軒、黒部市 3 軒、砺波市 5 軒、南砺市 6 軒、上市町 2 軒、朝日町 1 軒)

○福井県内の宿泊施設 4 軒(あわら市 4 軒)で浴場ボイラー破損等の被害。

○岐阜県内の宿泊施設 1 軒(高山市 1 軒)で落石による施設一部損壊の被害。
いずれも人的被害はなし。

■官庁施設

○北陸管内の災害応急対策を行う官庁施設のうち、被害のあった 9 施設の現地調査を完了。1 施設について継続使用は不可と判断。(業務は別地にて継続中。) その他の 8 施設は庁舎の継続使用に支障がないことを確認。

■緊急物資輸送

○陸上輸送

- ・被災地は、順次、道路による物資輸送機能が回復している。国は支援物資を調達し、被災自治体からの要請を待たずに、被災者の命と生活環境に不可欠な物資を広域物資拠点へ緊急輸送(1 次輸送)する「プッシュ型支援」を実施(3/23 まで)。輸送品目は、食料、飲料水、毛布、段ボールベッド、ブルーシート、衛生用品等。
- ・必要物資の手配は、内閣府の指揮の下、関係省庁(経産省、エネ庁、農水省、厚労省)が行い、物資供給事業者が物資と輸送手段の双方を手配。物資供給事業者が輸送手段を確保できない場合、政府の災害対策本部から国土交通省へ協力要請があり、国土交通省から全日本トラック協会に協力要請し、トラックの手配を確実に実施。(全日本トラック協会は対策本部を設置し、物流・自動車局や指定公共機関との間で連絡体制を構築。また、政府の災害対策本部にリエゾンを派遣。)
- ・県の物資拠点から市町の物資拠点への輸送(2 次輸送)は、自衛隊による輸送や自治体からの要請に応じた県トラック協会による輸送で対応。県の物資拠点の荷捌きや物資管理の効率化のため、1/9 より県に大手トラック事業者(ヤマト運輸、日本通運)が協力。

- ・市町の物資拠点から各避難所への輸送（3次輸送）は、主として市町の職員や自衛隊が車や徒歩などで輸送。市町の物資拠点の荷捌きや物資管理の効率化、及び、ラストマイルの着実な配送のために引き続き市町にトラック事業者等（西濃運輸（珠洲市）、日本通運（輪島市）、ヤマト運輸（輪島市）、佐川急便（能登町、穴水町、七尾市）、トナミ運輸（輪島市、志賀町）、石川県トラック協会（志賀町、七尾市）、トヨタ自動車（志賀町）、ダイハツ工業（志賀町）等）が協力。
- ・JR貨物と全国通運連盟において、被災自治体等に対する支援を目的として、企業等が被災地に向けて寄贈する救援物資については、無償で輸送を引き受ける体制を構築（1/4～）、被災自治体（志賀町、輪島市、七尾市、珠洲市）へ10件輸送完了。
- ・地方整備局等の支援
 - ①内閣府からの要請により中部地方整備局より飲料水500ml換算で約5万本、カラーコーン重り100個を石川県産業展示館（物資拠点）へ提供済み。
 - ②北陸・中部・近畿・九州地方整備局、（一社）日本建設業連合会、（一社）石川県建設業協会、（一社）長野県建設業協会、（一社）日本埋立浚渫協会、北陸港湾空港建設協会連合会等からの支援物資として飲料水500ml換算で約5.9万本、ブルーシート約1.4万枚、土のう袋約5.5万枚、仮設トイレや食料など生活支援物資や、マスクなどの衛生用品を石川県珠洲市、輪島市、能登町、七尾市、中能登町、穴水町、宝達志水町、志賀町、羽咋市、内灘町、加賀市、富山県氷見市、高岡市、魚津市、射水市、小矢部市へ提供済み。

○海上輸送

●港湾の対応状況

- ・前記の通り石川県内の港湾管理の一部を国で実施（対象港について、発災直後は6港。5月2日から2港に変更、7月2日から1港に変更。8月1日に終了）。
- ・緊急物資輸送・給水支援等のため、直轄（九州地整所有）の大型浚渫兼油回収船「海翔丸（かいしょうまる）」が、1月3日に北九州港を出港し、同月5日七尾港に到着し、輪島市内の避難所に支援物資を輸送。

●内航海運業界等の対応状況

- ・長距離フェリー等により被災地への緊急車両や物資等の広域輸送に協力。
- ・日本内航海運組合総連合会及び（一社）日本旅客船協会に対し、海上物資輸送に必要な船舶の確保について協力を要請しており、順次協力可能な船舶の明細を受領中。これらの情報について随時現地対策本部等へ情報提供。

- ・海運事業者による自発的な支援として、コーウン・マリン（株）（荷主（東ソー）、オペ（東ソー物流））の「東駿丸」が支援物資を搭載し1月12日に七尾港入港。水や保存食等の支援物資を七尾市に輸送。
- ・（公財）日本財団の支援活動の一環として、和幸船舶（株）のRORO船「フェリー栗国」が支援物資を搭載し、1月10日・17日・18日、2月7日に輪島港、1月11日・14日・19日・22日に飯田港に入港。灯油や軽油、シャワールーム等の支援物資を輪島市及び珠洲市に輸送。
- ・（株）田中建材の発注により、新川内航海運（協）の「第十二神徳丸」が道路用資材・仮設住宅資材を搭載し1月29日より、魚津港から飯田港へ輸送開始。2月7日には、合同生コン株式会社の発注による建設用資材を魚津港から飯田港へ輸送。
- ・（株）商船三井さんふらわあが、2月1日より、大洗/苫小牧間における罹災者及び災害ボランティアに対する運賃割引（旅客20%、車両10%）を開始

●海上保安庁の対応状況

○1月2日（火）

- ・簡易トイレ（200個入り20箱）を新潟空港から回転翼機により珠洲市市営グラウンドに搬送
- ・食料品、ブルーシート等を新潟空港から回転翼機により輪島市東陽中学校に搬送

○1月3日（水）

- ・飲料水・毛布等を新潟港から巡視船により輪島港及び飯田港に搬送

○1月4日（木）

- ・食料品、毛布等を新潟港から巡視船により七尾港へ搬送

○1月5日（金）

- ・食料品、毛布等を舞鶴港から巡視船、回転翼機により輪島市へ搬送
- ・新潟青年会議所から要請のあった食料品等を新潟港から巡視船により七尾港へ搬送

5 国土交通省の対応状況

(1) 災害対策本部会議等

○大臣指示 16:15

○国土交通省特定災害対策本部会議（1/1 第1回 18:15）

○国土交通省非常災害対策本部会議

（1/2 第1回 10:15、1/3 第2回 11:00、1/4 第3回 11:10、1/5 第4回 11:00、1/6 第5回 11:00、1/7 第6回 15:00、1/8 第7回 15:00、1/9 第8回 11:15、1/11 第9回 11:00、1/12 第10回 11:15、1/16 第11回 13:30、1/19 第12回 11:15、1/23 第13回 11:15）

(2) 非常災害現地対策本部（石川県）

○派遣終了（本省に連絡窓口設置済み）

(3) ホットライン構築状況

43 市 16 町 4 村と構築済み

(秋田県 2、山形県 3、新潟県 17、富山県 15、石川県 19、長野県 3、岐阜県 4)

(4) TEC-FORCE 等

○TEC-FORCE : のべ 25, 967 人・日

○ヘリコプターによる被害状況調査

- ・ 防災ヘリ (みちのく号) 石川県を調査 1/2、1/4、1/5、1/11
待機 1/12～1/14
- ・ 防災ヘリ (あおぞら号) 石川県を調査 1/2
- ・ 防災ヘリ (ほくりく号) 新潟、富山、石川県を調査 1/2
石川県を調査 1/4～1/5、1/9、1/14、1/17、1/19、1/29、
2/13～2/14、2/18、2/28
待機 1/6～1/8、1/10、1/12～1/13、1/15～1/16、1/18、
1/20～1/28、1/30～2/12、2/15～2/17、
2/19～2/27、2/29～3/27
- ・ 防災ヘリ (きんき号) 福井県を調査 1/2
石川県を調査 1/17
待機 1/15～1/16、1/18～1/27

○Car-SAT による被災状況調査

- ・ 石川県輪島市、珠洲市、金沢市を調査 1/2～1/31、2/1

(5) 災害対策用機械等の出動 (のべ 6, 748 台・日)

(6) 給水支援

○断水状況の概ねの解消により、石川県(輪島市・珠洲市・志賀町・能登町)・富山県(富山市)における給水支援を終了。(5/31)

(7) 電源支援

○停電状況の概ねの解消により、輪島市・珠洲市における電源支援を終了。(1/30)

6 気象庁の対応状況

○気象庁記者会見 (2024/1/1 18:10、21:30、1/2 00:00、1/2 10:32、1/7 1:30、1/8 14:00、6/3 08:30)

○気象庁災害対策本部会議 (2024/1/1 21:30、1/2 13:30、1/3 15:00、1/4 15:00、1/5 15:00、1/6 13:30、1/7 16:30、1/8 16:30、1/9 15:00、1/10 15:00、1/11 17:15、1/12 15:00、1/13 15:00、1/14 15:00、1/15 14:30、1/16 15:00、1/17 15:00、1/18 15:00、1/19 14:00、1/22 15:00、1/23 15:00、1/24 15:00、1/25 15:00、1/26 15:30、1/29 15:00、1/30 15:00、1/31 15:00、2/1 15:00、2/2 13:10、2/5 15:00、2/6 15:00、2/7 15:00、2/8 09:40、2/9 15:00、2/13 16:00、2/14 15:00、2/15 15:00、2/16 16:00、2/19 16:00、2/20

15:00、2/21 15:00、2/22 15:00、2/26 15:00、2/27 15:00、2/28
15:00、2/29 15:00、3/1 15:00、3/5 15:00、3/8 15:00、3/12
15:00、3/15 15:00、3/19 15:00、3/22 15:00、3/26 15:00、3/28
15:00、4/2 15:00、4/4 16:00、4/11 16:30、4/19 14:30、4/26
10:00、5/10 15:00、5/24 15:00、6/7 15:00、7/5 15:00、8/2
15:00、9/6 13:10)

○大雨警報・注意報（土壌雨量指数基準）を引き下げた暫定基準による運用を開始（2024/1/1）

通常基準の 7 割：2 県 8 市町（石川県、新潟県）

通常基準の 8 割：4 県 27 市町村（石川県、新潟県、富山県、福井県）

○洪水警報・注意報の発表基準（流域雨量指数基準）を引き下げた暫定基準による運用を開始（2024/1/9）

通常基準の 7 割：1 県 7 市町（石川県）

○高潮警報・注意報の発表基準を引き下げた暫定基準による運用を開始（2024/7/4）（対象：七尾市、能登町）

○気象庁 HP にポータルサイトを開設し、復旧・復興対応支援、避難生活の健康管理等のため、地震活動状況や地域毎の天気・気温等の詳細な予測情報を提供（2024/1/2）

○災害時自然現象報告書公表（2024/9/9）

○JETT（気象庁防災対応支援チーム）のべ 1,802 人を派遣※TEC-FORCE の内数

7 海上保安庁の対応状況

（1）投入勢力

○巡視船艇等・航空機（12 月 4 日時点）

巡視船艇 延べ 4,436 隻

航空機 延べ 922 機

特殊救難隊 延べ 18 名

機動救難士 延べ 810 名

○リエゾン

石川県庁 九管本部職員 延べ 88 名

七尾市 九管本部職員 延べ 82 名

輪島市 九管本部職員 延べ 81 名

珠洲市 九管本部職員 延べ 36 名

能登町 九管区職員 延べ 26 名

○対策本部

政府現地対策本部（石川県庁）九管区職員 延べ 130 名

○現地派遣

航路標識被害状況調査 九管本部・本庁整備課職員 延べ 12 名

（2）搜索救助の状況

○1月2日（火）

急患2名（女児・女性）を輪島市東陽中学校から回転翼機により小松空港に搬送

○1月4日（木）～9日（火）

輪島市において、孤立者情報への対応

○1月4日（木）～10日（水）

珠洲市沖合において、津波による行方不明者捜索を実施

○1月11日（木）

石川県からの要請による要搬送者対応（珠洲市）

以後、即応待機とし要請に基づき対応

（3）支援状況（物資を除く）

【人員】

○1月2日（火）

- ・警察職員3名（石川）を七尾港から小型艇により能登島に搬送
- ・北陸電力職員6名を七尾港から巡視船により飯田港及び輪島港に搬送
- ・消防職員5名（七尾）を七尾港から小型艇により能登島まで搬送

○1月3日（水）

- ・警察職員23名（愛知15、岐阜7、石川1）を七尾港から巡視船により飯田港に搬送
- ・北陸地方整備局職員1名を新潟港から巡視船により輪島港に搬送
- ・消防職員47名（大阪20、奈良27）を金沢港から巡視船により輪島港に搬送

○1月14日（日）

- ・要介護者4名を珠洲市野々江総合グラウンドから回転翼機により金沢市セントラルパークに搬送

【給水支援等】

○1月3日（水）～3月1日（金）

- ・七尾港岸壁に着岸した巡視船から自衛隊給水車等に給水
合計：2,926台 7,862トン

○1月4日（木）～5日（金）、11日（木）、17日（水）

- ・輪島港岸壁に着岸した巡視船艇から自衛隊給水車等に給水
合計：11台、26.5トン

【その他】

○1月2日（火）～3日（水）

港内（輪島港）調査

○1月5日（金）～6日（土）

測量船による飯田港における港内調査を実施

○1月6日（土）～7日（日）

測量船による蛸島漁港における港内調査を実施

○1月7日（日）～8日（月）

測量船による小木港及び宇出津港における港内調査を実施

○1月12日（金）～13日（土）

測量船による伏木富山港における港内調査を実施

○1月13日（土）～14日（日）

測量船による宇出津港における港内調査（追加調査）を実施

○1月14日（日）～15日（月）

測量船による輪島港における港内調査を実施

○1月15日（月）～3月25日（月）

測量船による富山湾南部及び能登半島北岸における異常水深調査を実施

8 国土地理院の対応状況

○国土地理院災害対策本部会議（1/1 18:50、1/2 11:10、1/3 11:55、1/4 13:10、1/5 13:10、1/9 13:00、1/12 13:10、1/16 15:30、1/19 16:10、1/23 15:00、1/26 9:30、2/2 15:30、2/7 15:45、2/14 10:00、2/21 10:30、2/28 13:30、3/13 11:00、3/22 10:30）

○電子基準点による地殻変動について、HPに掲載（1/1、1/2、1/9、1/15、2/15）

○被災状況調査のため、測量用航空機にて空中写真を撮影（1/2、1/5、1/11、1/14、1/17）

○「だいち2号」観測データの解析による地殻変動（1/2、1/4、1/9、1/11、1/12、1/16、1/19）、震源断層モデルについてHPに掲載（1/2、1/15、2/29）

○空中写真（垂直写真、正射画像）を関係機関に提供するとともにHPに掲載（垂直写真1/3、1/6、1/11、1/12、1/15、1/16、1/18、正射画像1/3、1/6、1/12、1/16、1/19）

○斜面崩壊・堆積分布データ、斜面崩壊・堆積分布図を関係機関に提供するとともにHPに掲載（分布データ1/4、1/6、1/7、1/9、1/12、1/15、1/19、1/22、分布図1/4、1/5、1/7、1/9、1/12、1/15、1/19、1/22）

○被災前後の比較（空中写真）（1/4、1/12）、「だいち2号」観測データの解析による海岸線の変化をHPに掲載（1/4、1/11）

○空中写真判読による津波浸水域（推定）を関係機関に提供するとともにHPに掲載（1/5、1/9、1/10、1/11、1/12、1/19）

○空中写真等の画像判読による輪島市中心の火災焼失範囲（推定）をHPに掲載（1/5、1/12）

○空中写真で確認した、陸化したと思われる港等を関係機関に提供するとともにHPに掲載（1/18）

○デジタル標高地形図を関係機関に提供するとともにHPに掲載（1/19）

○令和6年能登半島地震後の地形の状況が3Dで確認できるサイトをHPで公開（1/22、2/16）

○航空レーザ計測成果を用いた数値地形解析結果【速報】（能登地域）をHP

に掲載（1/29）

○災害現況図を関係機関に提供するとともに HP に掲載（1/29）

○現地緊急測量の結果を HP に掲載（1/31）

○電子基準点（付属標・水準点含む）の測量成果を改定し公表（2/7、2/29、4/30、6/27、11/27）

○亀裂分布図、亀裂分布データを関係機関に提供するとともに HP に掲載（2/14）

○成果公表停止範囲の一部（群馬県、新潟県、富山県、長野県、石川県）の三角点等について測量成果を改定し公表するとともに、同地域の座標・標高補正パラメータを提供（2/15、6/27、7/10、11/27）

○公共測量への対応について、HP に掲載（1/5、1/12、1/17、1/19、1/26、2/2、2/7、2/9、2/15、2/29、4/30、6/27、7/10、11/27）

○地殻変動の情報を HP に掲載（6/4）

9 国土技術政策総合研究所・土木研究所・建築研究所・港湾空港技術研究所の対応状況

○国土技術政策総合研究所災害対策本部会議（1/1～1/12、1/15～1/16、1/18、1/23、1/25、1/30、2/6、2/15）

○土木研究所災害対策本部会議（1/1～1/9、1/11～1/12、1/15～1/16、1/18、1/23、1/26、2/2、2/8）

○建築研究所応援対策本部会議（1/1～1/5、1/9、1/12、1/17、1/23、2/8）

○道路構造物の専門職員が石川県内の橋梁、道路盛土、トンネルなどの道路構造物を現地調査（1/2、1/3：国総研 2 名、1/5：国総研 3 名、土研 3 名、1/6：国総研 7 名、土研 3 名、1/7～1/8：国総研 3 名、土研 3 名、1/10～1/11：国総研 1 名、土研 1 名、1/17：国総研 1 名、土研 3 名、1/18：国総研 1 名、土研 4 名、1/19：国総研 3 名、1/20：国総研 2 名、1/21：国総研 3 名、1/22～1/23：国総研 2 名、1/30：国総研 2 名、1/31：国総研 5 名、2/1：国総研 4 名、2/6：土研 3 名、2/7：国総研 1 名、土研 3 名、2/8：国総研 3 名、土研 3 名、2/9：国総研 3 名、2/13：国総研 1 名、2/14～2/15：国総研 6 名、2/16：国総研 5 名、2/20：国総研 6 名、2/21：国総研 5 名、2/28～2/29：土研 2 名、3/4～3/6：国総研 4 名、土研 3 名、3/12～3/13：国総研 2 名、3/18：国総研 1 名、3/22：国総研 3 名、4/11～4/12：国総研 4 名、5/20：国総研 2 名、土研 1 名、5/21：国総研 5 名、土研 2 名、6/13：土研 1 名）

○下水道の専門職員を石川県庁へ派遣（1/3～1/4：国総研 1 名、1/5：国総研 2 名、1/6～1/9：国総研 1 名、1/10～1/12：国総研 3 名、1/13～1/15：国総研 2 名、1/16～1/17：国総研 3 名、1/18～1/22：国総研 1 名、1/23：国総研 2 名、1/24～1/29：国総研 1 名、1/30：国総研 2 名、1/31～2/5：国総研 1 名、2/6：国総研 2 名、2/7～2/12：国総研 1 名、2/13：国総研 2 名、2/14～2/19：国総研 1 名、2/20：国総研 3 名、2/21～2/25：国総研 2 名、2/26：国総研 4 名、2/27～3/1：国総研 2 名）

○建築の専門職員を現地へ派遣（1/3：国総研 2 名、建研 5 名、1/4：国総研 2

名、建研 6 名、1/6～1/8：建研 1 名、1/9：国総研 1 名、建研 2 名、1/10：国総研 2 名、建研 3 名、1/12：建研 1 名、1/13～1/14：国総研 1 名、建研 2 名、1/19～1/21：建研 3 名、2/3：建研 1 名、2/4：国総研 1 名、建研 1 名、2/28～3/1：建研 4 名、3/2：建研 1 名、3/13：国総研 1 名、建研 1 名、3/14～3/15：国総研 1 名、建研 2 名、3/16：建研 1 名、3/26～3/28：国総研 1 名、建研 4 名、4/9～4/12：建研 5 名、4/15～4/16：建研 3 名、4/18～4/19：国総研 2 名、5/7～5/9：建研 5 名、6/11～6/12：国総研 1 名、建研 1 名、6/15～6/16：国総研 1 名、建研 1 名、7/14～7/15：国総研 1 名、建研 1 名、8/22：国総研 1 名、建研 1 名、8/23：国総研 2 名、建研 1 名、8/24：国総研 1 名、建研 1 名、8/28：建研 2 名、9/13～9/14：国総研 1 名、10/2：建研 1 名、10/3～10/4：国総研 1 名、建研 1 名、10/8：国総研 1 名、10/14～10/16：国総研 1 名、建研 2 名、10/17：建研 1 名、11/5～11/7：国総研 1 名、建研 2 名)

○住まいの復興の専門職員を現地へ派遣 (2/7：国総研 2 名、建研 1 名、2/28：国総研 1 名、3/21：国総研 4 名、3/22：国総研 2 名、建研 1 名、3/26：建研 1 名、3/27：国総研 1 名、建研 1 名、3/28：国総研 4 名、建研 1 名、4/17：国総研 1 名、4/18：国総研 2 名、建研 1 名、4/19～23：国総研 1 名、4/24：国総研 3 名、4/25：国総研 2 名、建研 1 名、4/26：国総研 1 名、建研 1 名、5/10：国総研 1 名、建研 1 名、5/21：国総研 1 名、5/22：国総研 2 名、5/24：国総研 1 名、6/11：国総研 2 名、建研 1 名、6/19：建研 1 名、6/21：国総研 2 名、7/11：国総研 1 名、7/23：国総研 3 名、8/6：国総研 2 名、建研 1 名、8/20～8/21：国総研 2 名、9/4：国総研 1 名、9/6：国総研 2 名、9/25：国総研 2 名、9/26：国総研 2 名、10/9：国総研 2 名、10/11：国総研 2 名、10/24：国総研 1 名、建研 1 名、11/8：国総研 1 名、11/14：国総研 1 名、11/21：国総研 2 名)

○港湾構造物の専門職員を石川県内の港湾施設の現地調査のため派遣 (1/3～1/5：国総研 1 名、港空研 1 名、1/6～1/8：国総研 1 名、港空研 5 名、1/9：港空研 5 名、1/10：港空研 3 名、1/11：港空研 2 名、1/14：港空研 1 名、1/15～1/16：国総研 1 名、港空研 3 名、1/17：国総研 1 名、港空研 2 名、1/22～1/23：港空研 2 名、1/30～1/31：国総研 1 名、港空研 2 名、2/8～2/9：港空研 1 名、2/21：国総研 1 名、港空研 2 名、2/22：港空研 1 名、3/28：港空研 2 名)

国総研と港空研の連携による技術支援チームにより、利用可否判断、復旧等に関する技術支援を実施 (1/2～12/24)

○空港施設の専門職員を空港の技術支援のため現地へ派遣 (1/6～1/9：国総研 2 名)

上記技術支援チームにより、復旧等に関する技術支援を実施 (1/2～1/5、1/10～12/24)

○砂防・土砂災害の専門職員を現地へ派遣 (1/5～1/8：国総研 2 名、土研 2 名、1/11～1/14：国総研 2 名、土研 2 名、1/23：国総研 1 名、1/29～1/31：国総研 2 名、3/9：国総研 4 名、3/10：国総研 5 名、3/11：国総研 3

名、4/23～4/24：国総研 3 名、5/7：土研 2 名、5/24：国総研 1 名、土研 2 名、5/25：国総研 2 名)

○建設機械の専門職員を北陸地方整備局へ派遣 (1/6～1/15：国総研 1 名)

○災害対策マネジメントの専門職員を石川県庁へ派遣 (1/10～1/22：国総研 1 名、1/23：国総研 2 名、1/24～2/2：国総研 1 名、2/3：国総研 2 名、2/4～2/11：国総研 1 名、2/12：国総研 2 名、2/13～2/23：国総研 1 名)

○河川構造物の専門職員が石川県内の河川、ダムを現地調査 (1/10～1/11：国総研 2 名、2/18：国総研 5 名、土研 3 名、2/19：国総研 9 名、土研 3 名、2/20：国総研 4 名、土研 1 名、2/21：国総研 3 名、4/2：国総研 3 名、4/3：国総研 4 名、4/4：国総研 2 名)

○海岸構造物の専門職員が石川県内の海岸保全施設を現地調査 (1/22：国総研 3 名、3/22～3/23：国総研 3 名)

○都市公園の専門職員が石川県内の都市公園施設を現地調査 (3/12～3/14：国総研 1 名)

以上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 箭内

代 表：03-5253-8111 内線35-822

直 通：03-5253-8461